

Agenda2020/The New Norm による東京大会の財政的効果について

○**財政的効果 約4,500億円（約4.3b USD）** ※1USD=107JPY
(会場関係 2,200億円余 (2.2 b USD)、オペレーション等 2,200億円余 (2.1 b USD))

○主な項目

- ・ 会場の見直し
 - ・ テストイベントの適正化
 - ・ 選手村サービスの見直し
 - ・ 会場の賃借期間の短縮化
 - ・ デュアルブランディング
 - ・ セキュリティ機器の最適化
- これまでもIOCの協力により、Agenda2020/The New Normの精神を先取りしてコスト削減を推進
- その結果、Agenda2020/The New Normによる財政的効果のほとんどは、V2 予算編成までで達成
- 今後、大会準備の進捗に伴い、新たな需要が発生する可能性もあるが、それらについても、Agenda2020/The New Normの適用によりコスト増加を抑制していく